

第6回江南市下水道事業経営戦略策定委員会 議事録（概要）

会議名 : 第6回江南市下水道事業経営戦略策定委員会

開催日時 : 令和2年11月2日（月） 午前10時～午前11時

場所 : 江南市役所 3階 第3委員会室

傍聴人数 : 2名

委員 : 出席委員7名

横山 幸司 (学識経験者)

奥村 真也 (学識経験者)

浅野 敏夫 (各種団体)

小川 隆史 (各種団体)

柴田 喜充 (各種団体)

大脇 勇 (公募市民)

古田 みちよ (公募市民)

事務局 : 古田 (水道部長)

伊藤 (下水道課長)

吉本 (下水道課主幹)

柴垣 (下水道課計画工務グループリーダー)

青山 (下水道課雨水排水グループリーダー)

大池 (下水道課業務・経営グループリーダー)

平山 (下水道課業務・経営グループ)

小田 (下水道課計画工務グループ)

資料

資料1 江南市下水道事業経営戦略 (案)

資料2 江南市下水道事業経営戦略 概要版 (案)

資料3 地域再生計画

資料4 地域再生計画事後評価調書

議題

1. 江南市下水道事業経営戦略（案）について
2. 地域再生計画の事後評価について

1. 江南市下水道事業経営戦略（案）について

- 会 長： 前回の委員会で議論した「江南市下水道事業経営戦略（案）」について、修正した点を事務局より説明いただきたい。
- 事務局： ～ 資料について説明 ～
- 委 員： 基本方針としているコンパクトシティ・プラス・ネットワークについての記載が分かりにくいいため、分かりやすく説明してほしい。注釈に説明文があるにしても、内容が理解しにくい。
- 事務局： 国の考えに基づき、江南市総合計画や都市計画マスタープランでは、住居や商業施設、病院などを市の中心に集め、インフラ整備など各種事業の効率化を図るとしてコンパクト・プラス・ネットワークの考え方を取り入れている。本市は、市街化調整区域にもある程度の人口が分散しているため、実現は難しい部分もあるが、下水道は市街化区域の整備を原則とし、市街化調整区域のうち例外として採算性の取れる地区も計画的に整備していくことで、この概念の実現に取り組みたいと考えている。
- 委 員： 現状の記載では、今の説明のようにコンパクトに整備を進めていくのではなく、市街化区域と市街化調整区域を並行して整備していくように読み取れてしまう。概要版を含め、読み手に本来意図していることがしっかり伝わるよう、記載の仕方について、より分かりやすくなる工夫をしてほしい。
- 事務局： 検討したい。
- 委 員： 投資・財政計画では令和13年度と令和17年度にも使用料改定を見込んでいるとの説明だったが、いくらを想定しているのか。
- 事務局： シミュレーション上は、令和13年度に165円、令和17年度に185円への改定を想定している。ただし、この数値はあくまでもシミュレーションにおける仮定の数値である。
- 委 員： 令和12年度までの使用料改定は本委員会で議論してきたが、以

降については具体的な議論を実施していない。そのため、令和13年度以降のシミュレーションにおける使用料改定について、見せ方・書き方を工夫した方がよい。

- 事務局： 検討したい。
- 委員： 企業債の返済方法について、元金均等だと償還額が低く抑えられ財政負担が低減できると思うが、現状どのようなか。
- 事務局： 現在は財政平準化の観点から元利均等を採用している。金利負担を抑えるため、元金均等も検討しているが、借入直後の返済額が大きくなり、一般会計からの繰出金が増えることになることから財務部局との協議が必要な状況。一般会計の財政状況を見ながら借入条件を都度見なおしている状況である。

2. 地域再生計画の事後評価について

- 事務局： ～ 資料について説明 ～
- 委員： 地域再生計画の計画期間は終了しても下水道事業の実施に当たってはフォローアップが重要であるが、今後のフォローアップにおいて数値目標等は設定しているのか。
- 事務局： 今後に関して、地域再生計画としては具体的な数値目標等を立てずに事業を進めていくが、総合計画などで進捗管理していく形となる。
- 委員： 評価指標の一つにBODを採用しているが、ほかに水質に関する評価指標にはCODやSSが挙げられる。なぜBODを採用したのか。
- 事務局： 内閣府の示す地域再生計画の作成にかかる手引きでは、評価指標の例としてBODが示されているため本市でも採用した。
- 委員： 計画期間の最終年度の整備量が多かったため水質改善に対する効果があらわれるまで時間がかかるとあるが、整備量の多さと水質改善の因果関係がこの文言からは読み取りづらい。
- 事務局： 表現を修正する。
- 委員： 全てではないにしても部分的に達成できていれば、評価は△ではないのか。
- 事務局： 評価が○と×しか選べないため、全て達成していない場合は×となる。

3. その他

今後の予定について

- 事務局： 修正した経営戦略について、12月21日から1月20日までパブリックコメントの実施を予定している。
- 次回第7回目の委員会は令和3年2月の開催を予定しており、パブリックコメントへ諮った経営戦略の最終決定を予定している。
- また、汚水適正処理構想のパブリックコメントを既に開始しているのご承知おきいただきたい。